

市民と共に決める、今治の明日、

未来への新しい風

今治を愛するすべての市民に向けて ～ **3つの柱で今治大選択**

今、ウィズコロナの時代、アフターコロナの時代です。一番大切なことは命を守ること、そして、仕事を守ること。コロナの時代はいつか終わります。その時、新しい生活様式、仕事様式でさらなる発展に向けて競争が再び始まります。そして、その競争は、もう始まっているのです。

ウィズコロナの時代、アフターコロナの時代の二つの時代が同時に進行中です。今、全集中で、ウィズの時代への対応と、アフターの時代への準備の二つを同時に考える時です。デジタル化をフル活用し、市民の力を一つにまとめ上げ、発展に向けての戦いの火ぶたは、既に切られています。4年後からでは手遅れです。

4年後の市政の交替は、4周遅れでスタートする陸上競技のようなもの！4年後に再び違う列車に乗り換えて目的地に向かう？そんなスピード感で大丈夫なのでしょうか？4周遅れのスタート、途中の乗り換えは、市民のためになるのか、私も迷いました。

多選問題や市民の声もありますが、危機感、使命感が私を突き動かしました。新しいページを今日からめくります。今治を愛するすべての市民とともに、今治の明日のために、未来への新しい風を起こすために。

徳永しげきは、『瀬戸内クロスポイント構想』の視点で次の3つの政策の大選択を提言します。

3つの柱で今治大選択

柱:「市民がどまん中」の視点で市民の役に立つ市役所へ

柱:【地域経済対策】市民の命を守り「商いができる」今治の実現

柱:【今治市の将来】「ひとりひとり」が輝く今治をみんなで創出

I 「市民がどまん中」の視点で市民の役に立つ市役所へ

エネルギーの地産地消など多様な手法で財源捻出、財源確保し、市民の意見を聴くことを義務付ける条例を制定します。365日相談駆け込み寺の設置、地域のことは地域で決める、しまなみ総合事務所の現地設置検討などで市役所を高い住民サービスが実現できる超スマート自治体に体質変革します。

1 聖域なき財政・市民負担の総点検で、財源捻出、財源確保

◇エネルギーの地産地消

・再生エネルギーなどエネルギーの地産地消で、財源確保と地域活性化

2 賢い支出(ワイズ・スペンディング)で市役所の行財政改革

3 「ハコ物」事業、大規模事業を市民の目で再点検

◇「ハコ物」や大規模事業を決める前に市民の意見を聴くことを義務づける市民参画条例(仮称)の制定

4 デジタル化の加速で市民サービス(QoS)の向上、超スマート自治体へ体質変革

- 何でも相談できる 365 日駆け込み寺「総合相談窓口」を創設し、市民も事業所もサポート
- しまなみ総合事務所(仮称)の現地設置を検討し、地域のことを地域で決められる体制整備

5 公の施設等見直し

◇有効活用システムの導入

- ・図書館など公の施設、公共施設を施設管理、運営面から徹底検討

ウィズコロナの時代、アフターコロナの時代と、「若さ」と「行動力」を武器に先頭に立ち、市民の皆さんとともに全力で戦います。命と仕事と地域を全力、全集中で守り抜きます。

緊急対応

市民を守る新型コロナウイルス感染拡大防止策の更なる強化

- 感染拡大の防止・感染症対策の強化
- セーフティネット機能の強化

Ⅱ 市民の命を守り「商いができる」今治の実現

瀬戸内クロスポイント構想を提言します。デジタル化とトップセールスで今治経済の「新しい成長」ステージを切り開くこと。地域版総合商社を設立し、トップセールスに徹すること。初めての本格的な若者を対象にした創業・起業支援施設を整備すること。島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり、農林水産業、商業、製造業の産業づくり、人づくりを推進すること。人、文化、歴史を大切にしたい今治のパワーアップを実現すること。コロナから命を守り、全力投球します。

『瀬戸内クロスポイント構想』の提唱

瀬戸内海の“へそ”を生かし、デジタル化の加速に対応できるように

産業、観光、暮らしの拠点へ若さを活かし、トップセールスを展開



■「市長が今治市治市の営業部長になります」「市長が広告塔！」に挑戦

1 デジタル化の加速で今治の経済を「新しい成長」へ

●コロナ時代の「新しい日常」への移行支援

◇コワーキングを持つ起業・創業支援施設インキュベーションの設置

ワークスペース、レンタルスペースを有した貸しオフィス施設を整備。高速通信機能環境を整備し、安い賃料と支援機能を有し、若者、女性、移住者などの起業・創業を手助けする。周辺に実験ゾーンを用意し、実際に創業し、まちの活力復元を促進。

- 産業と仕事支援 ○ITしごと誘致特区を設置 ○経験を活かす「ふるさとで働く」ウィズコロナ時代の今治出身者のUターン就労支援 ○ICT版「今治タオルプロジェクト」の導入支援 ○今治タオルの産地の強化推進 ○今治海事都市構想の強力な推進による海事産業クラスターの充実

◇トップセールスを具現化する地域版総合商社「今治あきない商社」(仮称)の設立

- 農林水産業支援 ○地域農林水産物のトップセールスと、高速情報ネットワークの活用支援 ○地域の特色を生かした特産品づくりなど六次産業化の推進 ○農業・漁業:オンラインなど新たな販路拡大支援 ○鳥獣被害対策の強化充実
- 雇用就業支援 ○今治タオル人材の育成強化 ○障がい者施設からの優先調達と農福連携の促進による就労支援 ○県立今治工業高等学校機械造船科の活動支援 ○失業・求職者の就労支援の強化 (ICTスキル等の職業訓練を通じた人材育成強化・マッチング等)
- スマート今治の推進 ●ICT/AI・Society 5.0 人材の育成

2 島と海と陸をつなぐ魅力ある“まちづくり”、“産業づくり”、“人づくり”の推進

- 自分達のまち”を自分たちの手で ~ 地域コミュニティの活性化
- 大丸跡地など中心市街地を再開発し、生活、交通、仕事の拠点にリポーン(再生)

*リポーン[reborn]:生まれ変わること。再生。

- 新たなまちづくり ○通行料軽減を視野にしまなみ海道を島民生活を強力支援 ○生活・仕事に関連する国道、県道の整備促進と市道の改良整備推進 ○感染症に配慮した都市・物流・人流・交通政策 ○町会活動、公民館活動、老人会活動、消防団活動などで絆のまちづくり
- ゼロエミッション社会への移行
- スポーツ・エンターテインメント ○FC 今治と共に進めるまちの賑わいとスポーツツーリズムの推進○パラ(障がい者)スポーツの支援強化・メジャー化 ○5G 通信基盤の整備と併せ「今治サイクルシティ推進計画」のパワーアップ ○芸術・文化・スポーツによる魅力あふれるまちづくり ○障がい者を含めたeスポーツ振興

3 人が集(あつ)まる、人が集(つど)う、文化と歴史が咲く、“i. i. imabari”のパワーアップ

- 「今治マルシェ」(定期朝市)を今治港周辺で開催するなどし、人の動線を繋げ、商店街とみなと交流センター(はーばりー)の相乗効果を創出
- 子どもも大人も楽しめる施設の整備
- しまなみ地域など地域の特色を活かしたワーケーションの受け入れ態勢整備促進でウィズコロナ、アフターコロナの時代に対応
- マイクロツーリズムによる新需要の獲得強化
- 島しょ地域の産業や魅力を活かした振興
○ポストコロナを視野に島しょ地域の観光の振興を見直し

○島しょ部の魅力を生かした移住・定住政策の実行 ○空き家対策、活用対策の強化

○島しょ地域の魅力発信のための「島の宝発見推進委員会」の立ち上げ検討

●攻めの島しょ地域向け第1次産業政策を市政の大きな柱に

○IT活用、トップセールス等による販路開拓の実施 ○耕作放棄地、遊休農地を視野に儲かる農業振興対策

Ⅲ「ひとりひとり」が輝く今治をみんなで創出

女性が輝く、子供が輝くために今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」を創設し、健康マイレージ事業の充実拡大で「健康・長寿」と、障がい者にやさしいまちづくりに取り組みます。

防災・減災対策で災害に強いまちづくりも忘れてはなりません。

1 女性が輝く、子供が輝くやさしいまち“今治”

◇今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」(仮称)の創設

- ・出産を控えているお母さん、子育て中のお母さん、お父さん、困っていることはありませんか？
- ・お母さんの声、関係機関や地域と連携を大切に産後、子育て支援策を「市民がまん中」視点で力強く推進
- ・子育て世代包括支援センターを中心に「お母さん会議」(仮称)の意見、要望を聞きながら地域の声、特性を踏まえて充実、発展させ、今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」(仮称)を創設
- ・保育所、幼稚園、児童クラブ、学校などと連携、こども施設、スポーツクラブなどと連携

●子育て支援・女性の活躍支援

○安心できる不妊治療へ支援を拡充、不育症治療支援を検討 ○子育て世代の経済的支援の強化

○オンラインの活用など、安心して妊娠・出産と健診・予防接種、仕事ができる環境の整備、妊産婦・乳幼児支援で女性がいきいきと輝く生活を創出 ○重度心身障がい児への支援強化 ○ひとり親家庭等への支援

○保育園・学校・学童クラブ等における感染予防対策の徹底

●教育

○一人一台の学習用PCの導入などで小学校ICT化推進 ○郷土愛を育む日本一おいしい給食の提供推進

○小中学校のトイレ洋式化、エアコン設置の全校設置の推進

○子どもの貧困対策、経済的困窮の家庭・学生への支援強化

●島しょ部の教育環境の維持へ注力

○大三島分校、伯方分校存続、地元中学進学など地元で教育の受けられる環境維持

●多様な生き方の尊重

○「ソーシャルファーム」の普及・拡大 ○「感染症バリアフリー」の検討:マスクや消毒液等の優先提供体制・透明マスク・接触が必須の障がい者への感染防止策・多様な申請手法・情報発信の最適化(手話や字幕の追加、音声認識アプリの活用)

2 「健康・長寿」と障がい者にやさしいまちづくり

●健康マイレージ事業で健康、長寿、シニア活躍を促進 ●シニア活躍

●「予防」と「共生」のアプローチ強化 ●介護政策の一層の充実

3 防災・減災対策で災害に強いまち“今治”

●感染症と風水害・地震などの複合災害への対応の強化 ●避難所対策の充実・強化

今治市の明日と未来の姿を、停滞か前進かを、市民の皆さんと一緒に決めたい、選択したい。徳永しげきは、全集中で取り組みます。